

# ESSBASE® 11.1.1 FOR IBM i インストール クイック スタート

## サーバーの要件

---

オペレーティング システムと LPP のインストール  
最新の PTF パッケージおよびグループ PTF を含む

IBM i5/OS V5R4M0 または V6R1M0。

注意: **V6R1M0**

の場合、下記の番号は異なります。

- 5722JV1 Base:IBM Developer Kit for Java
- 5722JV1 Option 7:Java Developer Kit 5.0
- 5722JV1 Option 8:J2SE 5.0 32-bit
- 5722JC1 Base:IBM Toolbox for Java
- 5722SS1 Option 30:Qshell
- 5722SS1 Option 33:PASE (ポータブルアプリケーション ソリューション環境)
- 5733W61 Base:WebSphere Application Server V6.1 for i5/OS (または下記のオプション 1)
- 5733W61 Option 1:WebSphere Application Server V6.1 Express (または上記の基本オプション)

## ハードウェア

- 3 GB RAM 以上

物理メディアを使用してご使用のリリースをインストールする場合は DVD-ROM が必要。

- インストール用に 8 GB  
以上のディスク領域、インストール後に 2 GB 以上、さらに Essbase  
データベース用に追加のディスク領域。

## その他

- iSeries 上で TCP/IP  
が設定され、動作していること。
  - The system value QALWOBJRST must be set to \*ALL or \*ALWPGMADP. You can display the value with the DSPSYSVAL QALWOBJRST command.
  - インストールプロセスの時間を示すシステム値 QFRCCVNRST が 1  
に設定されていること。この値は、DSPSYSVAL QFRCCVNRST  
コマンドを使って参照することができます。
  - **IBM** ディレクトリ サーバーが稼動していること。
  - DRDA サービスが稼動していること。
  - HTTP サーバーが稼動していること。
- サーバー コンポーネントを実行するには、特定の iSeries PTF が必要。最新のレベルについては、*ReadMe* ファイルを参照してください。
- ShowCase Essbase 7.1x  
からの移行をサポートしていること。

## クライアントの要件

---

サポートされているオペレーティング システム

- Windows Vista (Home Edition を除く)、Windows XP Professional SP2、または Windows Server 2003 SP1 (R2 にも対応)。

## ハードウェア

- x86-32 プロセッサ、1.6 GHz 以上  
(Windows 2003 SP1 の場合 x86-64 も対応)
- すべてのクライアントに 1 GB RAM 推奨
- インストール用に 8 GB  
以上のディスク領域、インストール後に 2 GB  
以上のディスク領域。

## サポートされている Web ブラウザ

- MS Internet Explorer 6.0-7.0.x または Mozilla Firefox 2.0.x

## その他

- Java Runtime Environment 1.5.0 Update 12
- MS Office Excel XP (2002)、2003、または 2007

## サーバー ソフトウェアをインストールするには

---

インストールを開始する前に、Shared Services  
および EAS で共通して使用されるデータベース  
スキーマを作成してください。

1. iSeries の DVD ドライブに DVD を挿入します。
2. QSECOFR または同等の権限でログインします。
3. STRQSH と入力して、QShell を起動します。
4. DVD から次のファイルを復元します。  
RST DEV('/QSYS.LIB/OPT01.DEVD') OBJ('/SPSSInc-Essbase11'  
\*INCLUDE \*SAME)) SUBTREE(\*ALL) OPTFILE('/SPS\_0001')
5. installTool.sh  
と入力します。インストールを実行するためにフ  
ァイルが復元されるディレクトリのコンソールで  
す。上記の例では、*/SPSSInc-Essbase11*  
ディレクトリの QShell  
で実行する必要があります。

別のディレクトリにファイルを復元するには、上記  
のステップ 4  
のコマンドを、次のように変更します。

```
RST DEV('/QSYS.LIB/OPT01.DEVD') OBJ('/SPSSInc-Essbase11'  
*INCLUDE 'Alternate_Target_Dir') SUBTREE(*ALL)  
OPTFILE('/SPS_0001')
```

*/Alternate\_Target\_Dir*

は、ファイルを置く代わりに場所 (*/SPSSInc-Essbase11* とは別) です。

## PC ソフトウェアをインストールするには

---

インストールには、Oracle EPM システム  
インストーラを使用します。インストール  
するには、管理者権限が必要です。

1. PC の DVD ドライブに DVD を挿入します。
2. DVD の *Windows* フォルダからすべての zip  
ファイルを PC  
の一時フォルダにコピーします。

3. すべての zip  
ファイルを一時フォルダに解凍します。
4. *InstallTool.cmd*  
をダブルクリックしてインストーラを起動します。

インストール手順の詳細は、『*Essbase for IBM i Installation Guide*』の第 5 章を参照してください。

## リリースの概要

---

### サーバー インストール

本リリースを利用するには、次のサーバーコンポーネントが必要です。

- Essbase Analytic Server
- Essbase Administration Server (EAS)
- Essbase Integration Server (EIS)
- Shared Services
- Provider Services

### ドキュメントについて

既知の問題点や制限事項は、DVD にある Essbase 11.1.1 for IBM i ReadMe (*essreadme.htm*)、またはテクニカル サポート Web サイト <http://support.spss.com/> を参照してください。

### Oracle-Hyperion EPM 11.1.1

の完全なマニュアルは、下記の Oracle Web サイトを参照してください。

[http://download.oracle.com/docs/cd/E12825\\_01/nav/portal\\_1.htm](http://download.oracle.com/docs/cd/E12825_01/nav/portal_1.htm)

お客様からのご意見やご要望は、大切に扱わせて頂きます。SPSS Inc.

製品についてのご意見、ご感想は電子メールで [suggest@spss.com](mailto:suggest@spss.com) までお送りください。